

早稲田大学 商学部 現代文 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	例年通りに空欄補充問題が多く、抜き書き問題も出題された。今年は、文章並べ換え問題が出題された。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
一	梅木達郎 『支配なき公共性』	『国民国家の限界』というテーマは近時の大流行のテーマであり、予備校の現代文・小論文の授業でも何度も取り上げたので、生徒たちの出来も良かったようだ。傍線部説明問題ばかりではなく、空欄補充問題や文章並べ換え問題も、丁寧な精読で対応できるものばかりであり、今年の問題も、ほぼ満点を取らなくてはならないだろう。	標準

〔総合コメント〕

今回の問題をみて思ったことは、流行のテーマ・論点をじっくり学ぶことの重要性と、丁寧な精読の必要性である。何が最新流行のテーマ・論点になっているかを常に意識し、その概要を押さえずにはいけないだろう。また、要約がすべてと考える前に、精読をじっくりやっていくことが大切である。このことを軽視してはいけない。